

日野総合事務所だより



今回から、日野郡で地道に活動し、地域振興に一役買っている「人」を取り上げて紹介する「日野郡の人」シリーズが始まります。第1回目は先日、和太鼓製作で鳥取県伝統工芸士に認定された大柄重人さん（写真）です。

Contents

目次	(連載) 地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話 …… 2	西部教育事務所日野郡地域教育担当 …… 11
	県民局 …… 3~4	郡民会議 …… 12~15
	福祉保健局 …… 5~6	日野高校 …… 16~17
	農林局 …… 7~9	お知らせ …… 18~20
	県土整備局 …… 10	



鳥取ルネッサンス 地域の自立と再生を!

地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話 (第17回)

地域資源の循環による農業の推進

「身の回りの資源の価値と効果を再認識し、意識的に活用しましょう」

自然界では、土壌中の養分を植物が吸収して生育します。それを動物が食べ、排せつ物などが土壌中の微生物に分解され、また植物に吸収されることで物質は循環しています。

一方、農地では作物に吸収された養分は農地から持ち出されることになるため、養分の補給が必要となってきます。化学肥料で養分を補う今の農業では、土壌中に有機物が不足しており、地力が弱まっていると言われています。根が伸びなければ農作物の生長は期待できません。

そこで、有機物を農地に補給するためにたい肥の利用をおすすめします。

たい肥といっても様々な種類があります。稲わらなどの農産物の残さや畦草等を使ったもの、木の皮を使ったもの、牛や豚、鶏などの家畜ふん尿を原料とするものなど、この日野郡で身近に手に入るものがたくさんあります。

これらのたい肥は、農産物の旨みや栄養分のもととなる微量成分など化学肥料では補えない成分を含んでおり、特に、家畜ふん尿を原料とするたい肥では肥料効果も期待できます。

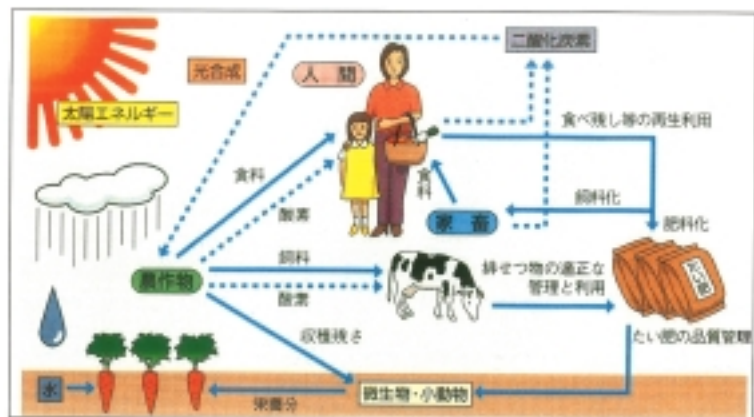
日野郡の米はおいしく、他産地のブランド米と比べても遜色ないものだ、とよく言われます。

その理由として、日野川の源流、大山のふもとに位置することから、きれいな水に恵まれ、昼夜の寒暖差が比較的大きいなどの気候風土があげられると思われれます。

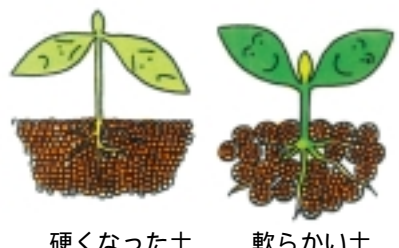
なにより、大半の農家で家畜が飼育されていた頃から家畜のふん尿を山野から刈ってきた草や稲わらなど一緒にたい肥として土づくりに利用してきた積み重ねが日野郡のお米のおいしさの源となっているのではないのでしょうか。

鳥取県では、農薬・化学肥料の使用量を通常の生産方法より5割以上削減する特別栽培農産物認証や有機JAS認定及びエコファーマー制度により環境に優しく持続的な農業を推進しています。

地域の資源であるたい肥を利用した土づくりを直して見ませんか。



問い合わせ先
農林局 農業振興課
電話 0859-72-2007
担当 田中 浩一



硬くなった土 軟らかい土

日野郡のインシリーズ ①

日野郡で地道に活動し、地域振興に一役買っている「人」を取り上げて紹介します。

今回は、日南町三栄の

大柄重人さん(44才)です。



大柄さんは、太鼓作りの伝統技術を父の盤治さんから受け継ぎ、二十五年近く和太鼓の製作に携わってこられました。そしてこのたびその高い技術が認められ、この二月二十日に盤治さんに続いて鳥取県知事より鳥取県伝統工芸士の認定を受けられました。

和太鼓は主に、木でできた側面部と牛皮でできた打撃部からなりますが、原材料の樺、牛皮は県内から調達し、大柄さん御自身が加工します。

製品は県内はもちろん岡山、広島方面の神社、仏閣、地域伝統芸能組織などに納めていますが、後々の修理のためにむやみに販路を広げようとはされていません。「今は、楽器が使い捨ての時代になっているが、本物指



認定証交付式の様子

奥日野源流太鼓は、太鼓製作者としてだけでなく、自由な演奏を通じて太鼓の魅力を多くの人に知ってもらいたいという大柄さんの強い思いから発足しました。発足から五年になりますが、現在会員は二〇名(大人一〇名、子供一〇名)で、活動としては練習を毎週水曜日に日南町文化ホールで行い、郡内外のイベントなどに積極的に参加されています。

「和太鼓は、手首だけで打つドラムと違って体全体を使って力強く打つことが要求される。打撃音で人を感動させることができる。」と話す大柄さん。製作と演奏の両面で太鼓の魅力を伝えます。

鳥取県伝統工芸士……鳥取県では、県内において郷土工芸品の製造に従事する技術者の内、高度の伝統技術・技法を保持、またその指導者として郷土工芸品等の振興及びその次世代への継承に寄与する者を鳥取県伝統工芸士として認定しています。

問い合わせ先
県民局 県民課
電話 0859-72-2086
担当 渡辺功 塚田修一



シリーズ 日野郡の 元気な会社 (第4回)



日野郡の基幹産業の一つである建設業。近年の公共事業が減少する中で公共事業依存の経営体質から転換し新たな分野へ進出される会社があります。

第四回目は江府町の「株式会社コーセン」です。



ファインファイバ舗装施工前



ファインファイバ舗装施工1年経過した場所で透水性を説明する川端社長

「景観透水性樹脂舗装」
(京都御所でも採用！)

株式会社コーセンが日野川流域から流れ込んだ土砂等が安易に処分されるのを見て、これを有効再生することができないかと、日野郡で第1号となる鳥取県建設業新分野進出調査事業を活用して、県内産樹脂「ファインファイバ」と砂を利用した透水性樹脂舗装の商品開発を始めたのは二年前です。

そして完成した「ファインファイバ舗装」とは、繊維化合物樹脂（特許）と砂を練り混ぜた材料で施工する透水性の舗装で、水が浸

透するので、水溜りがなく、草取り不要、天然そのままの風合いなので景観性にも優れており、庭や玄関アプローチ、お墓などに使用されているほか、京都御所でも駐車場に採用されています。

「現在、主にお墓を中心とした注文が多く、お客様からは「草取り等の管理作業がグリーンと楽になった」、「見栄えが良くなった」と好評です。また、今年度は鳥取県のグリーン商品の認定を受ける準備を行っており歩道・公園などに採用されれば皆様に大変喜ばれると思います。」と同社の川端登志一社長。

建設サービス業を目指して

「創業五十年の節目に、公共工事だけでなく、地域のお客様の生涯利益を実現することを目的に、旧来の事業のあり方を見直して発想を建設業からサービス業に転換しよう」と決めた。つまり建設もできるサービス会社と言う事です。その一環として地域のひとさらに接する事を目的とした「コーセン

はっぴーライフ倶楽部」を設立しこれらの取り組みは地域の皆様から好評をいただいております。」と語る同社長。

企業データ

代表取締役 川端 登志一
所在地 江府町江尾47-9
電話 0859-75-2124
FAX 0859-75-2933
e-mail toshikazu@kousengumi.ocn.co.jp
主な業種: 土木、造園、建築、
下水道工事業

鳥取県建設業新分野進出調査事業とは

県内での新分野進出の促進を図ることを目的として、建設事業者及び建設関連事業者が公共事業依存の経営体質からの転換を促進するため、これから実施する建設業以外の新分野へ進出のために行う試行的な調査・検討に要する経費の一部を助成する補助事業です。

問い合わせ先
県民局 県民課
電話 0859-722-2085
担当 永見 将

「健康とつとり計画推進」

外食をうまく食べるために

〜栄養成分表示を上手に活用しましょう〜

最近では外食を利用する機会が増えています。日野総合事務所では県民の健康づくりに役立てるため、外食料理や惣菜などに栄養成分表示をする店が増えるようにすすめています。外食選びに上手に活用しましょう。



肉は脂肪の少ないものを選びましょう。



「栄養成分表示をしたい。」「栄養成分表示をしてほしい。」というお店があればぜひお申し出下さい。

問い合わせ先
福祉保健局 保健衛生課
電話 0859-722-2037
担当 阿部 暁子

日野郡内表示店のメニュー紹介

<日南病院食堂> やき飯
エネルギー 617Kcal たん白 19.3g 塩分 2.3g



<一步> 和風スパゲティ
エネルギー 482Kcal たん白 14.2g 塩分 1.4g



<たたらや> おろしそば
エネルギー 476Kcal たん白 20.0g 塩分 3.0g



<日野病院食堂> 親子丼
エネルギー 713Kcal たん白 28.6g 塩分 3.6g



浄化槽を適切に維持管理しましょう

浄化槽は、適切な維持管理がなされないと、機能が低下し、悪臭などが発生して周囲に迷惑をかけるだけでなく、河川等の水質悪化の原因となります。

このため、浄化槽管理者（設置者）には、法律で以下の管理を行うことが義務付けられています。

守ってください！管理者の義務

義務	内容	回数	依頼先
保守点検	浄化槽の機能を維持するための点検・調整・消毒剤の補充などを行います。	年に数回	県に登録した保守点検業者
清掃	使用に伴い発生した汚泥などを抜き取り、洗浄、汚泥量の調整などを行います。	年に1回以上	市町村の許可を受けた清掃業者
法定検査	水質検査・外観検査・書類検査など、浄化槽の機能の判定を行います。	年に1回	県の指定検査機関（財団法人鳥取県保健事業団）

保守点検・清掃の記録は法定検査の際に必要となります。3年間保存してください。法定検査は財団法人鳥取県保健事業団だけが実施し、その場で料金を請求することはありません。検査員は職員証を携帯しています。不審に思われたら直接連絡して、ご確認ください。

（連絡先）財団法人鳥取県保健事業団 西部本部 業務課
米子市流通町158-24 電話 0859 - 39 - 3288

お知らせ

現在、福祉保健局では浄化槽の適正な維持管理の徹底を図るため、浄化槽の設置状況を確認し、台帳への登録作業を進めています。

こんなときにはお手数ですが、保健衛生課までご連絡ください。

法定検査の受検案内が届かない

浄化槽を設置しているのに、過去に一度も指定検査機関（財団法人鳥取県保健事業団）から法定検査の受検案内が届いていない場合は、登録漏れとなっている可能性があります。

浄化槽の使用を廃止したとき

登録を抹消する必要があります。

単独処理浄化槽を設置されている皆様へ

水質環境を守るためにより処理性能の高い「合併処理浄化槽」への取替を御検討いただくようお願いいたします。町から補助金を受けることができる制度がありますので、町の担当課に御相談ください。

問い合わせ先

福祉保健局	保健衛生課	電話	0859 72 2039
担当	徳本 徹志		
日南町住民生活課	08859 778		
日野町産業振興課	08859 882		
江府町建設環境課	08859 771		
	08859 321		
	08859 311		
	08859 001		
	08859 611		

平成18年5月29日から農作物の農薬残留規制が変わります

残留農薬のポジティブリスト制度が始まります

「食品衛生法等の一部を改正する法律」で「基準が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の流通を原則禁止する制度」

「ネガティブリスト制度」(これまでは)

使用できないものを示して、それ以外の方は
使用できるという考え方
残留基準のある農薬のみの残留量が流通禁止の対象になります



「ポジティブリスト制度」(これからは)

使用できるものを示して、それ以外の方は
使用できないという考え方
すべての農薬成分の残留量が流通禁止の対象になります

ポジティブリスト制施行後は、想定される**すべての農作物と農薬成分**に残留基準が設定されます。
国内や欧米諸国にも残留基準値が設定されていない農薬でも**0.01 ppm**を超えて含まれる場合には食品衛生法上の規制を受け、対象農作物の**流通は禁止**されることとなります。

散布しようとする作物以外に農薬がかからないように細心の注意が必要!

次の場合は特に注意が必要です!

- ・ほ場どうしの距離が近いとき
- ・となりの食用作物の収穫時期が近づいてきた時
- ・飛散が起こりやすい散布方法の時(動噴、ナイヤガラホース等)

0.01ppmは

とっても低~い濃度

10t ダンプ

1円玉

0.01ppm = 100 t の中の 1 g



× 10台分の土砂の中の



と同じ

農薬が飛散しないように

次のような対策をとりましょう!

- ・散布量が多くなりすぎないように気をつけましょう
- ・風が弱いときに、風向きと散布の方向や作物の位置に気をつけて散布しましょう
- ・細かい散布粒子のノズルの使用は避け、圧力も上げすぎないようにしましょう
- ・タンクやホースも洗い漏れがないようにきれいに洗いましょう
- ・飛散の恐れが高い場合は、周りの作物をネットやシートで遮蔽しましょう
- また、液剤や粉剤の散布を避け、粒剤等を使用するののも一つの方法です

農薬を散布することを周りの栽培者に伝えるなど、日頃から地域の農業者の連絡を密に取るようにしましょう。
農薬の使用基準を守り、散布したら必ず記録に残しましょう!



問い合わせ先

農林局 農業振興課
電話 0859-72-2007
担当 松原 秀樹

ほ場整備の完成間近

江府町州河崎地区で実施中のほ場整備

鳥取県内の県営ほ場整備は昭和38年から始まりましたが、日野管内においては遅れること約20年、昭和56年に日南町多里地域から始まりました。

その後、県下で大きく遅れていた整備は県営事業により神戸上、阿毘縁、下蚊屋、石見、山上、江尾・宮市、印賀、美用、大原、日光の各地域において急ピッチで整備され、昨年着手した江府町州河崎地区内の整備を最後に日野管内のほ場整備を完了する運びとなりました。

また、町主体によるほ場整備も多くの地域で取り組まれ、これらにより、他の管内とほ場を並べた75%のほ場整備率になっております。

これからは、整備された水路等の施設の丁寧な維持・管理を心がけ、長く上手に使っていただく事が大切になってきます。

近年、農業施策は平成19年産から品目横断的経営安定対策が導入されるなど、大きな転換期にさしかかっており、整備された農地や施設をうまく使いながら、地域、地域で考えた農業を展開することが求められております。

一方、ため池については、近年、農家数の減少等により管理が適切に行われていないものが見受けられるため、災害を未然に防ぐ観点から、ため池点検活動を役場と協力して実施するとともに、「ため池点検マニュアル」を昨年12月に発行する等、技術的な支援を行います。

農業用水路等の土地改良施設の維持保全、地域支援に関するご相談は各町役場若しくは地域整備課までお問い合わせください。

お問い合わせ先

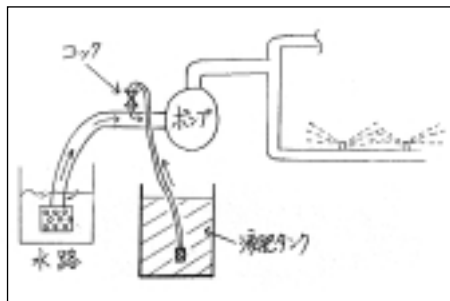
農林局 地域整備課
 電話 0859-72-2013・2014
 担当 赤本 和夫
 藤縄 和彦



着工前



現在の状況



既設のかん水施設を改造した
かん水同時施肥システム

**既設のかん水施設を活用した
トマトのかん水同時施肥法の紹介**

日野郡特産の夏秋トマトの栽培では、かん水と施肥管理を併せた養液土耕という省力化システムが一部で導入されていますが、施設が非常に高価という問題があります。また、雑草対策として除草剤にかえてマルチを使用する場合、固形肥料による追肥の作業は大変ですが、既設のかん水施設を改造してかん水と施肥を同時に行っているトマト農家がありました。昨年、この方法について検討しましたので紹介します。

システム

図のような塩ビパイプにノズルの付いたかん水施設のポンプの吸

管途中にコックを取り付け、液肥吸入用に細めのホース（防除用高圧ホース程度）をつないだだけの簡単なものです。

方法

固形肥料（燐硝安加里S604）を溶かし、固形での施肥間隔の半分（5日間隔）でかん水と同時に流しました。注意点としては液肥吸入ホースの先端に目詰まり防止のネット等を取り付けること、かん水パイプ内に水が行き渡ってから液肥の吸入を開始することです。基本的に液肥の濃度を気にする必要はなく、施肥量は溶かした肥料の量と流す液肥の量で調節します。

試験結果

固形施肥区（20 kg / 10 a）の60%程度の施肥量でも、同等の収量（7 t / 10 a）が上がりました。格安の改造で、施肥の省力化、肥料の利用効率向上、草勢管理の簡便化が可能です。詳細は、日野総合事務所ホームページを御覧ください。

問い合わせ先

農林局 日野農業改良普及所
電話 0859-72-2025
担当 田中 義宏

**良質な乾草を多給した
子牛を育てましょう。**

（全国和牛能力共進会）

（鳥取大会）にむけて、牛には胃が4つ（第1〜4胃）あり、草などの繊維質は第1胃と

いうところで分解、吸収されます。したがって良い肉牛を生産するためには第1胃を十分に発達させることが重要であり、そのためには子牛の時期に良質な乾草を十分に給与することが大切です。

子牛に乾草を十分食べさせるためには、配合飼料などは制限して給与します。

鳥取県家畜市場においても、昨年6月から乾草などを多給した子牛（粗飼料多給子牛）を差別化して販売しています。



額章を付け差別化販売される乾草を多給された子牛（鳥取県中央家畜市場）

粗飼料多給子牛育成の管理のポイント

- 子牛用飼料（スターターと言われるもの）を遅くとも1ヶ月齢から給与します。
子牛用飼料を早期に食べさせ、離乳をスムーズに行います。
- 離乳は3〜4ヶ月齢で行います。
- 良質な乾草を十分に与え、配合飼料は制限します。
せり出荷時の配合飼料は1日4kg程度に制限します。

問い合わせ先

農林局 日野農業改良普及所
電話 0859-72-2028
担当 池岡 進



普及所はこのような子牛の育成管理について推進しています。来年10月には5年に1度の和牛のオリンピックと言われる全国和牛能力共進会が鳥取県西部地区で開催されます。日野郡においても出品候補の子牛が生まれてきており、粗飼料を十分に給与した子牛の育成について農家の支援をしています。

あなたのお宅は大丈夫？

平成17年7月から江府町（一部地区を除く）で実施した土砂災害防止法に基づく基礎調査の調査結果に基づき、土砂災害警戒区域の指定に係る公示を平成18年3月末に行います。

土砂災害警戒区域は、豪雨や長雨等によって土砂災害「がけ崩れ・土石流」の発生するおそれがあり、異常気象時の警戒避難体制の整備を特に図る必要がある土地の区域です。

区域の指定に係る公示後は、区域を示した図面を日野総合事務所県土整備局、江府町役場に備え付けるとともに、鳥取県土整備部治山砂防課のホームページに掲載します。

どなたでもご覧いただけますので、土砂防災の参考にぜひ活用ください。

閲覧場所：日野総合事務所県土整備局

江府町役場

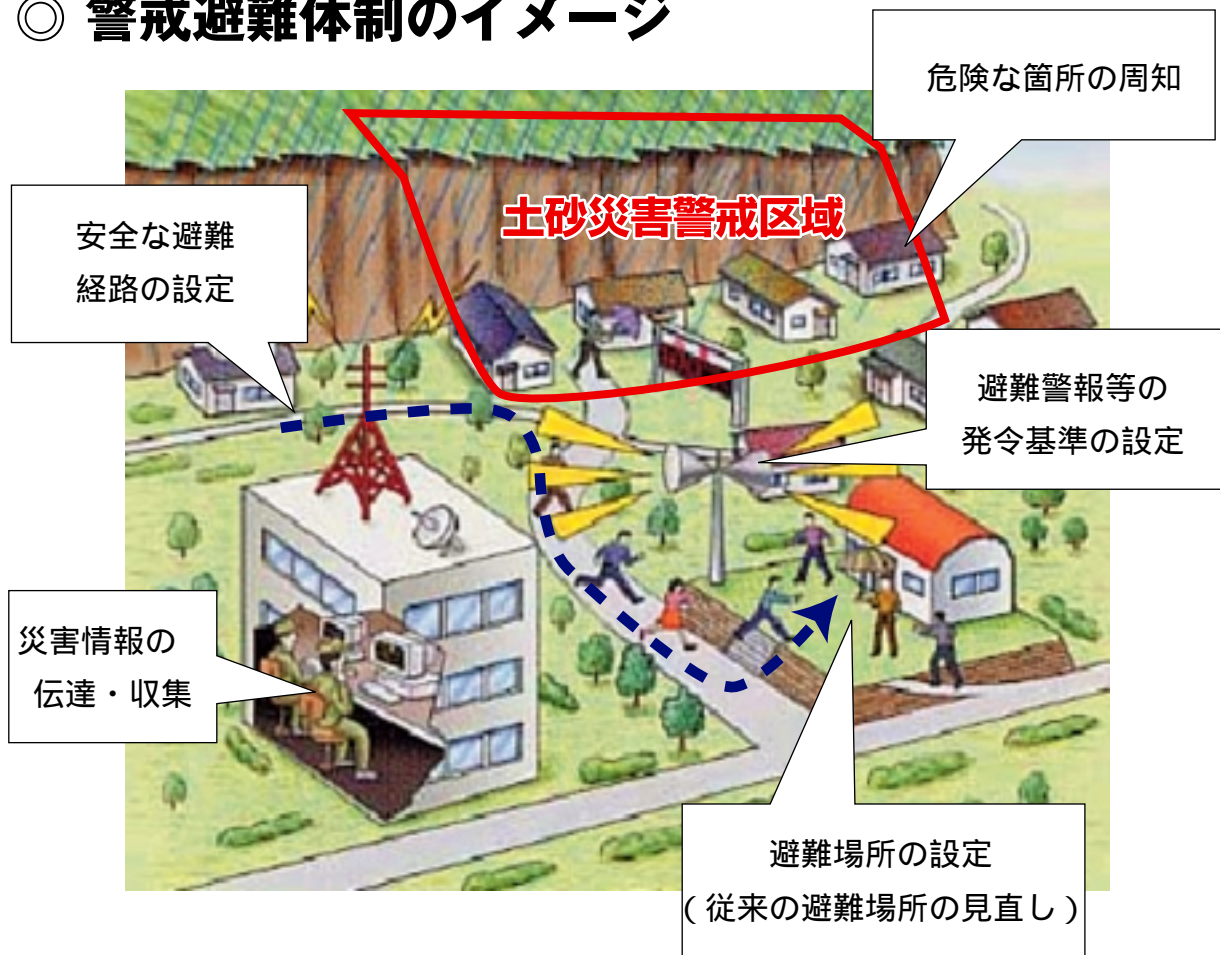
治山砂防課ホームページ

(URL:<http://www.pref.tottori.jp/chisansabou/dosyahou/dosyahou.htm>)

問い合わせ先

県土整備局 維持管理課
 電話 0859-72-2044
 担当 和田 淳史

◎ 警戒避難体制のイメージ



心とからだいきいきキャンペーン



～日野郡の取り組みとして～

子どもたちの朝食は？

(アンケート調査から)

前号では、テレビなどの視聴時間を取り上げましたが、今回は朝食について報告したいと思います。

これも、昨年4月に行われた県の基礎学力調査と比較してみました。

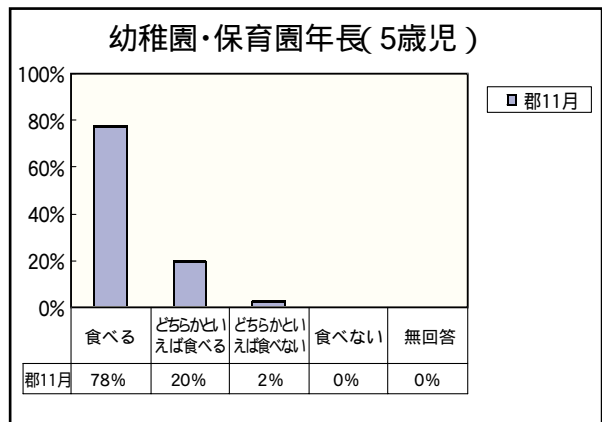
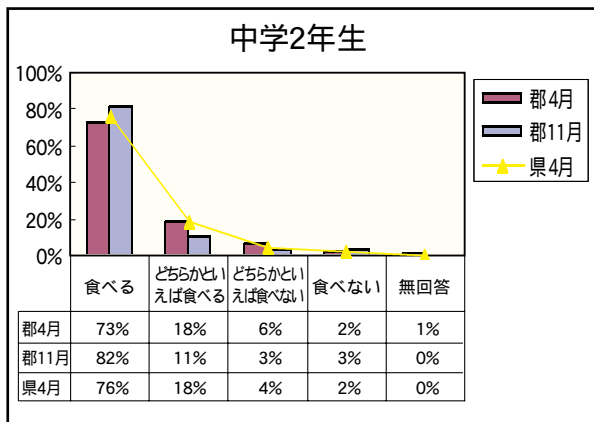
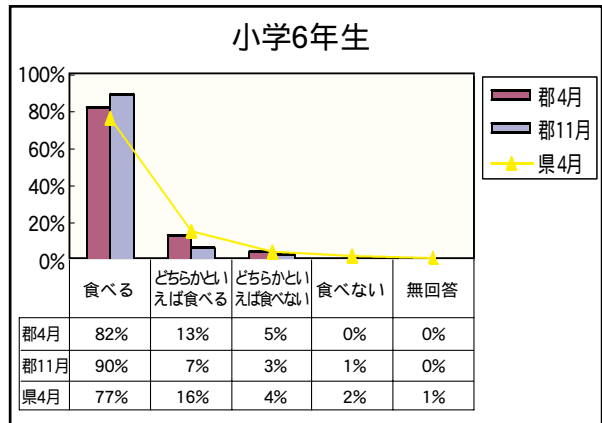
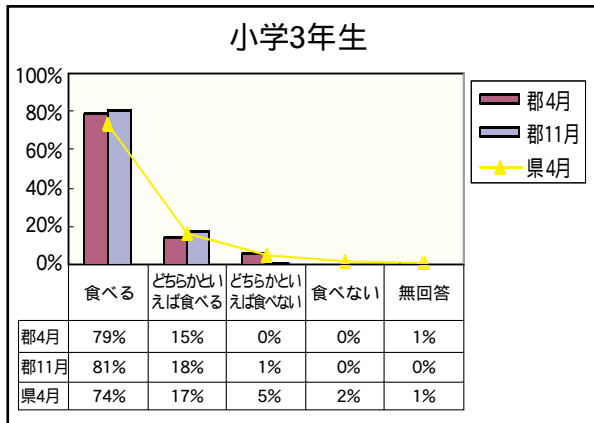
4月に比べると、どの学年も「食べる」が増えているようです。これは、「食育」が叫ばれる中、「食」と「心や体の健康」の関係、「食」と「学力」の関係について、少しずつですが保護者の理解が進んできているからではないでしょうか。

今は、保育所でも栄養のバランスなどについての学習も行われています。子どもたちの体験不足が指摘されていますが、食事の準備や片付けを協力して行う、栄養のバランスを子どもと一緒に考えながら調理体験をさせるなど、失敗と成功を繰り返すことで、食卓が「安らぎの場」・「コミュニケーションの場」になると思います。

「コミュニケーションの場」になると思います。家庭内で「毎週 曜日の夕食(朝食・昼食)は家族と一緒に調理する」とルールを決め、一緒に材料を切る、一緒に味付けするだけなら、小さい子どもでも十分できると思います。早速、始めてみてはどうでしょうか？

問い合わせ先

西部教育事務所 日野郡地域教育担当
 電話 0859 72 2075
 担当 清水 和祥



区分	意見の概要	担当所属	事業名
	<p>子育てを行っているとき、周りに相談する人もなく、毎日すごく不安を感じていた。そういう中で子育てに関するサークルに参加しているが、気軽に集まれる場所や子供を預かる場所の確保が難しい。</p> <p>昨今父子家庭という状況も増えていると思う。所得制限という問題も絡んでくると思うが、母子家庭の支援制度と同じような扱いについても考えてほしい。</p>	子ども家庭課	育児不安等についての相談指導、子育てサークル支援等を行う地域子育て支援センター事業を実施する市町村に対して助成しています。
		障害福祉課	母子、父子家庭に限らずひとり親家庭については、18歳になった年度末まで、児童及びその親等に対し市町村と共に助成しています。
		福祉保健課	生活費等に困窮されている場合は、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付事業をご利用いただけます。県では当事業に対し償還利子の軽減のため補助を行っています。
	<p>家族の柱になる方が勤めができなくなって収入がない場合などに、支援するような融資制度などはないか。これからはそういうことも多くなるのではないかと思うので考えてみて欲しい。</p>	福祉保健課	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付事業をご利用いただけます。県では償還利子の軽減のため補助を行っています。
拡充	<p>高齢化率の高い日野郡には介護支援を受けなくてはならない予備軍が大変に多いと思う。「こころのセーフティネット事業」の「ケア会議」においては、予防的な対応なども加えていただくことを要望したい。</p>	健康対策課	<p>自殺の背景となるうつ状態のサインを早期に発見し、相談機関や医療機関につなげる体制整備をします。</p> <p>自殺予防対策において重要な役割を担っている「鳥取いのちの電話」の24時間体制に向けて、相談員を確保するとともに、相談環境の整備を行います。</p>
	<p>日野郡米が新潟の魚沼産コシヒカリに負けないくらいのお米だということを県の東京や大阪事務所を通じて、もう少し全国的にPRしていただけたらいいのではないかと思います。お米は多分農協を通じて販売されたりすることが多いと思うが、農協と上手に連携していただけたらと思う。</p>	市場開拓課 市場開拓監	<p>(株)大丸ピーコック(千里大丸プラザ)で毎月奥日野コシヒカリの試食販売を実施し、店舗では定番商品に準じた取扱いとなっています。</p> <p>18年度も継続実施し知名度向上を図ることとします。</p>

鳥取県日野郡民行政参画推進会議からのお知らせ

平成18年度鳥取県当初予算において鳥取県日野郡民行政参画推進会議の意見を取り入れた事業を紹介します。

これらは、第2期委員の第1回会議(平成17年1月15日開催)から第4回会議(平成17年9月10日開催)までの会議において委員から出された意見について、その趣旨等を平成18年度の県の当初予算に反映しているものです。

新規事業2件、拡充事業1件、継続事業9件(複数の意見を反映している事業もあり)となりました。新規に掲げている「日野地域情報発信強化事業」は、日野総合事務所の独自事業として取り組むものです。

問い合わせ先 県民局 県民課 電話 0859 - 72 - 2084 担当 三木浩司

平成18年度当初予算において鳥取県日野郡民行政参画推進会議の意見を取り入れた事業

区分	意見の概要	担当所属	反映状況	事業名
新規	<p>菅沢ダムは日南町でもはずれのほうにあり、もう少し気を付けていただきたいと思う。菅沢ダムができて40年ぐらいになるが、何ら活性化もしていないので、今後はそのあたりもよろしく願いたい。</p>	日野総合事務所	<p>菅沢ダム周辺の豊かな自然環境は日野郡の広域的な観光を振興する上での貴重な観光資源の一つと考えており、今後の多くの方々を知っていただけるよう、町とも連携をしながら積極的な情報発信に努めます。</p> <p>また、最近の健康ブームの中で注目されるウォーキングの日野郡内のコースの一つとして紹介することとしています。</p>	日野地域情報発信強化事業(自然公園魅力向上事業)(新規)
新規	<p>日南町にはたくさん自然公園があるが、特産を生かしたものを食べられたり、見たりできるところの情報発信はできないか。</p>	日野総合事務所	<p>日野郡の総合的な情報発信をするための観光ガイドブックの作成を予定しており、その中で飲食店情報等についても積極的に情報発信を行います。</p>	日野地域情報発信強化事業(日野郡観光ガイドブックの作成事業)(新規)
新規	<p>滝山公園のようにたくさん素晴らしい所があっても、整備が必要になったときに、「地元でしなさい。」と言われる。何の事業でも地元でと言われても、意外と地元の人が地域を知らないことがたくさんある。関心のない人もかなりある。日野郡もこんないい名勝がたくさんあるので、もっとみんなが知るような対策を講じていかないと、いいものは廃れていく気がする。</p>	日野総合事務所	<p>日野郡の魅力である自然公園の魅力を積極的に発信します。</p> <p>また、「出雲街道の歴史を訪ねる会」のように、事業への地元の方々の主体的な参加を促したり、「日野郡の歴史セミナー」のように地域の歴史・文化や自然に詳しい地元の方から、地域の皆さんに知識を受け継ぐ場づくりにも努めます。</p>	日野地域情報発信強化事業(自然公園魅力向上事業、地域でつくる地域の歴史・文化発信事業)(新規)

区分	意見の概要	担当所属	反映状況	事業名
	日野郡は冬は雪が降るので、野菜や果実などもあまり採れない。薬品・農薬を使わないと「ジャガイモの芽が出てしまい品物として保存ができなく」とか、「タマネギの芽が出て保存できない」などの問題や悩みがある。これらについて普及所で、試験や、技術習得していただき指導していただきたい。	農 政 課	特定の技術課題については、試験場との連携により解決を図ります。 なお、特定の受益がある場合の指導等については、一部有料化を今後の検討課題としています。	農業改良普及指導活動費（継続）
	日野町上菅駅付近の小屋を撤去してもらっただけでもカーブの見通しがはるかによくなると近所の方とも何度も話すが、緊急に取り組んでいただけるのかどうか伺いたい。	道 路 企 画 課	撤去する予定です。	一般国道180号（日野町上菅）交通安全施設等整備事業（補助）（継続）
	スクールカウンセラーが現場に行くのはいいけれども、学校の校長先生をされた方がカウンセラーとして派遣されるという問題がある。カウンセラーと学校の先生では、全然意味が違うと思う。安易に校長先生をされた方をカウンセラーとして派遣していただくことには絶対反対である。	小 中 学 校 課	スクールカウンセラーを公立全中学校（60校）に配置することとしていますが、鳥取県臨床心理士会等と協議し、臨床心理士の資格を有している方や適切な方にスクールカウンセラーを依頼しています。	教職員定数（継続）

よりん彩の図書返却の取り扱いについて



よりん彩情報資料室

鳥取県日野郡民行政参画推進会議での『鳥取県男女共同参画センター“よりん彩”の情報資料室から借り図書の返却の取り扱いが日野総合事務所県民局窓口でも出来るか』とのご意見を受け、よりん彩と検討した結果、この度、返却業務をすることとなりましたので、ぜひ、ご利用ください。
また、よりん彩情報資料室図書利用のご案内のパンフレットについても、窓口でお配りしていますので、詳細については、よりん彩または、日野総合事務所県民局までお問い合わせください。

問い合わせ先 鳥取県男女共同参画センターよりん彩 電話 0858 - 23 - 3901
日野総合事務所県民局県民課 電話 0859 - 72 - 2072
担当 西村 裕子

区分	意見の概要	担当所属	反映状況	事業名
	県職員は営業マンとしての感覚をぜひ持っていただくことをお願いしたい。農業改良普及員が来ても、作るのは新米の普及員よりは地元で作っている方のほうがずっと技術的に上手である。これからは農作物をどう集めて売っていくのかということに県はもっと力を入れて欲しい。	農 政 課 市場開拓課 市場開拓監	市場情報を引き続き提供するとともに、市場性を重視した研修に取り組むなど資質向上に努めます。 県外量販店、飲食店等での鳥取フェアや商談会の開催、新たな販路拡大のための生産者の創意工夫による取組支援等を行います。	農業改良普及指導活動費（継続） おいしい鳥取PR推進事業（継続）
	裏山に40年生の杉の山があるが、カシの実が飛んでその木が背丈を越す高さになっている。林業はいろいろ問題があるが、このようにこのまま複層樹林の状態に戻していけばいいのではないかと考えている。	林 政 課	手入れがされず放置されている奥地の水源林等を対象地とし荒廃した森林の機能回復を図るため針葉樹と広葉樹との混交林化を進めています。	とっとり環境の森緊急整備事業（継続）
	地産地消ということで県も食の教育を推進しているが、農業改良普及所も一緒になって地域の農産物を給食に出すようにすることも可能ではないかと思うがどうか。	市場開拓課 市場開拓監	市町村が事業主体となって、本県の農林水産物の学校給食等への供給体制を整備する事業に対して1市町村3年間に限り助成する事業に取り組んでいます。 普及所も学校と生産者との情報交換や生産・出荷調整に加わって助言、指導に努めています。	地産地消推進事業（「食育」の推進）（継続）
	県も人員削減ということで、普及員の3町への浸透が十分でない。技術的なものは専門の農家のほうがいいかもしれないが、そればかりではない。販売については地元だけではなくインターネットを使っても情報発信できない部分もあるので、一緒になっていいアイデアを出しながら、地元の特産というものを他に配信していかないとけない。 もっと普及所、普及員に、満遍なく出掛けていただき、住民とかかわり合っていきながらいろいろな問題を解決していって欲しい。	農 政 課	これまで以上に現地に出向き生産者等と関わりながら地域の特産物の情報発信について、関係機関と協力して支援していきます。	農業改良普及指導活動費（継続）

日野高校



今回は「産業社会と人間」学習発表会と郷土芸能部の台湾公演について紹介します。

「産業社会と人間」発表会

産社担当 三上 博子



産社発表会

去る平成18年2月10日、第5回「産業社会と人間」の学習発表会を、日野町文化ホールをお借りして行いました。一年生から三年生までのそれぞれの代表が取り組んできた成果を発表いたしました。会場には本校の二年生の生徒、保護者、その取り組みに講師として関わっていただいた方、生徒の出身中学校の先生、地域・事業者の方々に御来場いただきました。御来場の方から今後の参考にと感想を頂いたのですが、「生徒の成長」「熱心さ」を感じていただいた

もの、あるいは「いまひとつの工夫」もの足りなさ”などを指摘していただいたコメントなどありました。この体験、そして御意見を基に一層努力を払い来年へとつなげていきたいと思えます。多方面からの御援助、御協力に對しまして心より御礼申し上げます。

どうも有り難うございました。



産社班まとめ

少し遅れて日野町文化ホールに入ると、発表の生徒達はステージ上で照明を浴びてリハーサルをしていた。その表情は緊張しているというより引き締まっ

教諭 井上 幹朗

緊張感、責任感そして高揚感など同じホールにいるとは思えないほどの違いだ。いつもはふざけてばかりいるような生徒も、ステージ上では大人びて見えた。

何歳になっても甲子園球児が年上に見えるのと同じ脳内作用か

「発表者は今日も放課後に練習があるからな。がんばれよ！」と朝礼で連絡すると、心の中で「チエッ」って言うような表情をしていた彼らが今はどうだ。ボサボサの髪もなぜか彼らの大切な一部分に見えるし、いつもは下



産社収穫感謝祭

手な化粧で隠された今日のノーマイクの女生徒達の瑞々しさは圧倒的で、その目はパンダから宝石へと変貌している。ステージ横で出番を待つ間、小さい声で練習を繰り返したり、黙って意識を集中させたり、逆にはしゃいだりしていた姿はさしずめ若手芸人のそれではないか。

彼らは約2週間ですていじに立つ者に求められる「何か」を自覚したらしい。人前に立つこととは責任を伴うということ。



郷土芸能部台湾訪問

郷土芸能部台湾公演

郷土芸能部 亀山 真也

僕は始め台湾公演があると聞いて、この郷土芸能部のスケールの大きさに驚かされました。「とんでもない部活に入学したものだ。」

そう思ったほどでした。

しかし、台湾に着いた頃にはそんな思いは消えていました。とにかくいろいろなところに行ってきたいろいろなものを見てきて、いろいろな人に出会ってきた、忙しいながらも充実していたからです。僕の中で一番心に残っているのは、台湾の伝統芸能です。特に獅子舞がとてもカッコよかったです。そしてその技や激しい動きに驚かされました。ほかに先住民の踊りや剣舞、棒術など本当にレベルの高いものばかりでした。それらを見ていて、僕は「こつちも負けていけないな」と自分に気合いを入れました。



郷土芸能部台湾訪問

台湾での僕の演技はすべて大成功、という訳にはいきませんでした。難しいのはやはり舞です。しかも、今回は狭いステージが多くて大変でした。一日日の大

て上手く動けず、もう衣装の重さでヨロヨロでした。獅子舞を見たときの気合いとは裏腹に、満足いく舞ができなくて悔しかったです。一九日のSOGOの二回の公演はステージが狭い上に、下が滑りにくくて苦労しました。そして最後のレセプション公演でもかなり狭くて、うまく動けませんでした。それでも台湾の方々に大きな拍手をもらうことができて本当に有り難かったです。そして少しでも日本の伝統文化の素晴らしさを伝えることができたと思います。

いろいろな場所をバスでまわって台湾の高校生と交流したり、公演したりして、本当にハードなスケジュールでした。しかし、僕は改めてこの郷土芸能部の存在の大きさを実感しました。郷土芸能というものは大切なものなんだと思います。そして郷土芸能部に入ったからには、この荒神神楽を伝え、残していく責任を負ったことになるのでしよう。「まったくとんでもない部活に入学したものだ」とつくづく思います。しかし、僕は「責任」を果たすと重く考えるのではなく、あくまでも「須佐之男命」の役を極めるためにこれからも頑張っていこうと思っています。

・進路状況

進路指導部

景気上昇の兆しが見え始めたとはいえ、地方にはまだまだその影響は少ないのが現状です。そんな中、本校三年生は進路実現に向かって力一杯頑張っています。以下は、二月二日現在の今年度進路状況を紹介します。



進路室風景

- 大学(合格校)
- 私立
 - 神戸国際大(経済)、鳥取環境大(環境政策)、広島経済大(経営)、文教大(人間科学)、追手門学院大(経営)
 - 短期大学(合格校)
 - 私立
 - 鳥取短期大(食物栄養×幼児教育)、東大阪短期大(健康福祉)
 - 専修・専門学校(合格校)
 - 米子医療センター付属高等看護学校、東洋医療専門学校(鍼灸)、上田女子服飾専門学校、ファッションクリエーター、鳥根自動車工業専門学校、松江情報ビジネスカレッジ(ペット×公務員)、鳥根総合福祉専

- 門学校(介護福祉)、音楽学校メジャーハウス、松江医療福祉専門学校(理学療法)、日本海情報ビジネス専門学校(総合医療事務)、2×情報コミュニケーション(公務員)、YMC A米子医療福祉専門学校(理学療法)(介護福祉士)、鳥取県立農業大学校(畜産)、鳥取県立米子高等技術専門学校(自動車整備×OA事務)、米子看護高等専門学校、鳥取県立倉吉高等技術専門学校(土木システム)

- 県内就職
 - 医療法人社団日翔会(4)、鳥取ピバラコースティック(株)、協同組合丸合(3)(株)(皆生ランドホテル、山陰食鶏農業協同組合)、社会福祉法人萌生会(2)(有)、米子アポロ石油(株)、グリーンステージ、丹野工業(株)、(株)大山ロイヤルホテル、丸京製菓(株)(2)(株)、海産物のきむらや(有)、ピノワールド、ユタカフーズ(株)、堀田石油(株)、(株)日新(株)、山陰興発大山平原ゴルフクラブ(株)、グリーンパーク大山、社会福祉法人慶愛会(有)、ケイエスダイニング(株)、フーズマーケットホック、日野病院組合、西建美容マーズ、済生会境港総合病院
 - 県外就職
 - 西日本旅客鉄道(株)、倉敷紡績(株)(岡山工場×安城工場)、マコー美容室、後宮和哉(株)、フジワーク、美容ディープロコア
 - 公務員
 - 自衛隊陸上2(大3)

消費生活センターからのお知らせ



地上デジタルテレビ放送への移行に
便乗した架空請求に注意!

【事例】
「地上デジタル放送へ移行されることにより、切り替え工事が始まり、アンテナ切り替え工事代金の一部(1万750円)を全国民が負担しなければならない」という内容の封書が届いた。指定口座に入金するよう記載があるが本当に支払わないといけないか?

【助言】
頼んでもいない工事について、代金を請求されることはありません。事例のケースは「架空請求」です。お金を振り込む必要はありません。今後公的機関などを装って請求書を送りつけたり、訪問販売等で勧誘が行われることが予想されますのでご注意ください。

【主な注意点】

- アンテナ工事について
アンテナ工事の勧誘を受けても即決せずに複数の業者に見積もりをとるなど契約は慎重にしましょう。
- 不要になったアンテナの撤去やアンテナの点検を装った訪問販売にも気をつけましょう。
- テレビ(受信機)について
現在使用しているテレビでも地上デジタルテレビ放送用チューナーを設置することで引き続き使用することができます。
- 「テレビが見られなくなる」という嘘の勧誘に惑わされないようにしましょう。

困ったときは各市町村役場又は消費生活センター相談室までご相談ください。

問い合わせ先

鳥取県立消費生活センター 西部消費生活相談室
住所 米子市末広町294
電話 0859-342648



「集落の未来は話し合いから」

一、はじめに
日野郡においては、高齢化率が高く、農業の後継者確保が難しくなっています。これは、我が家だけではなく、地域全体の問題でもあります。そこで、「集落営農」が注目されてきました。

二、水田農業施策の転換

今、水田農業の政策は、大きく変わりつつあります。国は助成を、「担い手」に限定する方向を打ち出しており、どのような「担い手」を目指すかが地域の水田農業を考えるポイントとなっています。

そこでは、集落営農が「担い手」となるためには、認定農業者になるにせよ一定の要件を備えた集落営農にせよ、「法人化」がキーワードとなっています。

三、法人化の相談窓口

「集落営農ならともかく、法人化」といつたってどうしていいかわからんと心配される世話役の方も多いでしょう。そこで日野総合事務所では、集落営農だけではなく、法人化を目指す集落への支援を進めるために、普及所に「農業

法人化相談窓口」を開設しました。

四、集落で地域で考える農業へ
個人では維持が困難となってきた水田を、地域でいかに守るか、少しでもコストのかからない稲作ができないか、上手に助成をもらうには、といった様々な問題点を集落として地域として考え、農業を見つめ直してはどうでしょうか。



問い合わせ先

農林局 日野農業改良普及所
電話 0859-722028
担当 森岡宏顕 天満伊津美

おわびと訂正

前号で紹介しました、品目横断的経営安定対策の加入手続きは、平成十九年春(予定)に変更されました。

日南試験地からのお知らせ

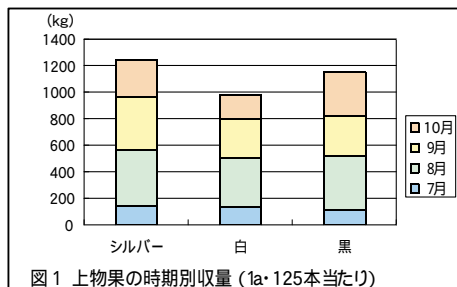
ピーマンは取り組みやすい野菜

日野郡では約3ヘクタールで夏秋ピーマンが栽培されています。設備投資が必要でプロ向きトマトに比べ、ピーマンは誰でも取り組みやすい野菜です。その3大メリットは、軽い作りやすい(露地野菜の中では)高収益、その他に設備投資が少ない、出荷ロスが少なく箱詰めが手軽などがあります。

試験地では技術改善試験を含め農家のみなさんに栽培状況を見てもらっています。今年の試験地の出荷実績は1アール当たり1トン、十四万円でした。収量を多くとる秘訣は追肥を定期的に忘れずやることです。退職後どうしようか、何か作ってみたいと思っっている方はピーマン栽培にチャレンジしてみたいかがでしょうか。気軽に相談ください。



試験地での試験栽培のようす
(栽培期間：5月下旬～10月末)



試験結果：マルチの色はシルバーが収量が高くなった

問い合わせ先

園芸試験場 日南試験地
電話 0859-8710306
担当 小林 弘昌

「日野郡のそば処」がリニューアル

日野郡では豊かな自然の中、そばづくりが盛んに行われています。このたび、地元のそば粉と日野川に育まれたきれいな水によって打たれた「そば」を味わえる店、そば打ち体験場所、そば粉が買える店を紹介するパンフレット(B43つ折り)ができました。掲載内容は左記のホームページからご覧になることができます。日野郡でしか味わえないそばの味をお試しください。



アドレス <http://www.pref.tottori.jp/hinosougou/soba/index.html>

問い合わせ先

日野郡そば研究会事務局 県民局 県民課内)
電話 0859-722086
担当 渡辺 功

手続はお早めに

占有許可・使用許可等の更新時期が近づきました。県土整備局では、道路や河川等の占有許可や行政財産の使用許可等を受けている方で、平成18年3月31日に期間が満了する方に更新手続を行って頂くようご案内しています。更新の手続を行っていない方は、急いで手続をお願いします。ご不明な点があれば、県土整備局維持管理課までお問い合わせください。

問い合わせ先

県土整備局 維持管理課
電話 0859-722046
担当 松本昭人 恩田 操

日野郡の宝もの

（歴史的・文化的資産を訪ねる）

鵜の池

（日野町下黒坂）



教えてください！

日野県土整備局では昨年引き続き、地域の文化的・歴史的資産の情報提供を求めています！「これがあったから今の地域がある」「これは地域の誇りだ！」というものがあれば県土整備局までご連絡ください。

鵜の池は下黒坂の山中にあり、標高四二〇m、周囲約四km、水深十六mの池で黒坂発電所に水を供給している。

この池は、慶長年間（一五九六～一六一四、約三九〇年前）に関一政が黒坂に転封される以前からあり、池についての由来やいろいろな伝説が残っている。池の北岸山林内には古い寺跡があり、平安の昔壮麗な伽藍があって、僧兵も居たと言われ、大山寺と事をかまえ敗滅したとの言い伝えがある。「おしどり」が渡来する池として有名である。

予告

日野郡の歴史セミナーを現地開催

毎月第3水曜日の夜7時

地元の郷土史家が日野郡の歴史をお話しています。

5月は屋外編。日中に現地での開催を計画中です。

遠足気分です。ショート・トリップ。

気軽なセミナーです。

また2月～4月は大山道横手往来をテーマに江府町防災情報センターで開催中です。4月19日（水）は3回シリーズの最終編。江府町の皆様、御机の皆様、日野郡の皆様、ラストチャンスです。

間地峠の茶屋の復活

今年は 6月11日（日）

昨年、出雲街道の歴史を訪ねる会で復活した間地峠の茶屋。

今年は6月11日（日）に決定しました。

問地（伯耆町）と舟場（日野町）の合同企画。今年は何んな企画になるのか。

1年に1日限りの峠の茶屋。お楽しみに。

問い合わせ先

県民局 県民課
電話 0859-72-2083
担当 別所 秀典



古紙配合率100%再生紙を使用しています



このカタログの印刷は、環境にやさしい植物性大豆油インクを使用しています。

編集発行：鳥取県日野総合事務所県民局 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1
TEL 0859-72-0321 FAX 0859-72-2072
E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp URL <http://www.pref.tottori.jp/hinosougou/>